

```
app.MapGet("/trust/complete", async (TrustedDb db) =>
    await db.TrustCode.Where(t => t.IsComplete).ToListAsync());

app.MapGet("/trust/incomplete", async (TrustedDb db) =>
    await db.TrustCode.Where(t => !t.IsComplete).ToListAsync());

app.MapGet("trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) =>
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustedDb db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var violations))
        return Results.ValidationProblem(violations);

    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();

    return Results.Created($"/trust/{trust.Id}", trust);
});
```

TRUST CODE

マイクロソフトのビジネス行動規範

```
app.MapDelete("/trust/delete-all", async (TrustedDb db) =>
    Results.Ok(await db.Database.ExecuteSqlRawAsync("DELETE FROM TrustCode")));

app.Run();

Task EnsureDB(string connectionString)
{
    var options = new
        DbContextOptionsBuilder<TrustedDb>().UseSqlite(connectionString).Options;
    using var db = new TrustedDb(options);
    return db.Database.MigrateAsync();
}

enum Courses
{
    Accessibility,
    CompetingFairly,
    DigitalSafety,
    EthicalSelling,
    GlobalReadiness,
    InsiderTrading,
    ModelCoachCare,
    ResponsibleAI,
    Privacy,
    SecurityZeroTrust
}
```



チームの皆さん

私たち一人一人が、言葉と行動を通して私たちの文化を形作ります。マイクロソフトは、学びを受け入れ、信頼を育む多様でインクルーシブな文化、つまりすべての従業員が最大限の力を発揮できる文化の構築に努めています。

仕事において適切な意思決定と倫理的選択を行うと、お客様やパートナーとの信頼が築かれます。短絡的な利益と引き換えに、個人の誠実さやマイクロソフトの評判および信頼を損なうようなことがあってはなりません。

誠実さ、正直さ、コンプライアンスが意思決定の指針となると、私たちはより倫理的な選択をしやすくなります。私たちは、常に動機について透明性を保ち、失敗から学び、困難な状況に直面したときには助けを求めるべきです。私は、リーダーやマネージャーに対し、従業員が気軽に質問したり、何かがおかしいと感じるときに懸念を提起できるような文化を醸成することを求めています。

マイクロソフトのビジネス行動規範（「Trust Code」）は、信頼を築くために私たち一人一人が果たすべき役割と、意思決定に際して取るべきアプローチを強調しています。これらの原則を日々の業務に活かすとき、私たちは、信頼を築きお客様やパートナーがより多くのことを達成できるようにするために、自信を持って良い意思決定をし、前に進むことができるのです。

ありがとうございます。

Satya Nadella

チェアマン兼 CEO



コンテンツの 目次

マイクロソフトの 文化 と価値観

マイクロソフトのミッション

懸念の報告

より多くのことを達成

マネージャーの役割

Trust Code の使用

声を上げる

TRUST お客様との間

プライバシーの尊重

セキュアな製品とサービスを構築する

不適切な支払いの禁止

公正な競争

TRUST 政府 やコミュニティとの間

世界の法令の遵守

人権の尊重および推進

アクセシビリティに対応した製品
およびサービスのデザイン

責任ある AI の開発および展開

TRUST 従業員同士

ダイバーシティとインクルージョンの
醸成

安全で生産性の高い
職場への貢献

利益相反の回避

TRUST 投資家や 一般の人々との間

インサイダー取引の禁止

マイクロソフトのリソースの保護

正確な記録や契約の保持

機密情報や知的財産の
保護

一般の人々への正確な情報伝達

TRUST マイクロソフトの 代理人との間

贈り物、接待、旅行の
責任ある扱い

信頼できる代理人の使用

誠実なサプライヤーの選択

TRUST CODE の遵守

Trust Code の遵守

TRUST

マイクロソフトの文化と価値観

マイクロソフトのミッション

5

より多くのことを達成

6

Trust Code の使用方法

7

懸念を報告する方法

9

おかしいと思ったら声を上げる

10

マネージャーの役割

12

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id) => {
    await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust == null)
        return Results.NotFound();

    return Results.Ok(trust);
});

app.MapPost("/trust", async (TrustedTrustCode trustCode) => {
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trustCode, out var errors))
        return Results.ValidationProblem(errors);

    db.TrustCode.Add(trustCode);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($"/trust/{trustCode.Id}", trustCode);
});

app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, TrustedTrustCode trustCode) => {
    await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trustCode == null)
        return Results.NotFound();

    db.TrustCode.Update(trustCode);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.NoContent();
});
```





マイクロソフトの ミッション

地球上のすべての個人とすべての
組織が、より多くのことを達成で
きるようにする

マイクロソフトの ミッション の達成

マイクロソフトの価値観

尊重

誠実さ

説明責任

マイクロソフトの文化

成長する考え方

お客様に寄り添う

One Microsoft

ダイバーシティと
インクルージョン

世界を変える

より多くのこと を達成



信頼を獲得し築く方法

まず、マイクロソフトの文化と価値観を適用して、マイクロソフト内外で永続的な関係を築くことから始まります。

マイクロソフトの価値観は、日々信頼を獲得するよう努める私たちが、誠実にビジネスを行うための指針となる揺るぎない原則です。

マイクロソフトの文化は、私たちがどのような存在であり、どのように行動するのかを示す、業務のフレームワークです。



マイクロソフトの ビジネス行動規範

マイクロソフトのビジネス行動規範（「**Trust Code**」）は、私たちがマイクロソフトの文化や価値観を用いて、お客様、政府、投資家、パートナー、代理人、そして従業員同士との信頼を築き、維持する方法を示しています。これにより、私たちはより多くのことを一緒に達成できます。

TRUST CODE を使って 適切な意思決定を行う方法



適切な意思決定と倫理的な選択を行うと、私たち一人一人と関わる人々との間に信頼が築かれます。

しかし、遭遇するすべての状況が単純明快であるとは限りません。困難な状況や不明瞭な状況に直面したとき、どのように最善の選択を行いますか？ 倫理的なジレンマをどのように乗り越えますか？

マイクロソフトの Trust Code は、あらゆる状況において何をすべきかをすべて教えてくれるわけではありませんが、**適切な意思決定を行い、答えが必ずしも明確でない複雑な状況を乗り越える**際のガイドとなります。

```
app.MapGet<T>
awa
app.Map
{
```

```
TrustedD
ustedDn
tedDb
```



困難な決断や状況に直面したとき 次のステップに従いましょう。

Microsoft
runs on
trust.

1



立ち止まる

状況に不安を感じますか？ 直感が、何かおかしいと告げていますか？

立ち止まり、その状況にどうアプローチするかを考えてみましょう。

2



考える

あなたのアプローチは、マイクロソフトの文化や Trust Code の価値観と一致していますか？ それは、信頼を築いたり、維持したりするものですか？ 短期的な利益のために、長期的な評判や信頼を犠牲にしてはなりません。

3



求める

質問をして、支援を得ましょう。CELA、財務、または人事部門に相談しましょう。自分のマネージャーや、他のマネージャーから支援を得ましょう。適切な意思決定を行うのに役立つリソースが用意されています。メールで buscond@microsoft.com に問い合わせることができます。

何かおかしいと思ったら、声を上げましょう。
そうすることで、問題に対処できます。

誠実さについての懸念を報告する >

懸念を 報告する方法

懸念の提起は、できる限り簡単であるべきです。そのため、何か問題があるときに報告するためのさまざまな方法が用意されています。

あなたが最も報告しやすい方法を選んでください。
どの方法を選んででも、あなたの秘密は守られます。



居住国の法令で認められている場合、社外ホットラインを利用して、匿名で報告できます。また、匿名として扱ってもらうよう、コンプライアンスおよび倫理観チームに依頼することもできます。



Web www.microsoftintegrity.com



Fax 1-425-708-7177



電子メール buscond@microsoft.com



電話 1-877-320-6738
国際料金受信人払い通話
+1-720-904-6844



郵送

Business & Regulatory Investigations
Microsoft Corporation
One Microsoft Way
Redmond, WA 98052 United States

その他のリソース

また、懸念は、直属のマネージャーやマイクロソフトのその他のマネージャー、人事や財務担当、CELA にいつでも提起できます。

モバイル デバイスをお使いですか? この QR コードをスキャンして、電子メールを送信できます。



SCAN ME

何かがおかしいとき 声を上げる

Microsoft
runs on
trust.

信頼できる文化を築くには、何かがおかしいと思ったら、声を上げることを学ぶ必要があります。そうすることで、問題に対処できます。

誠実さに関する懸念

を提起する



誠実さについての懸念を提起するのに、すべての詳細を知っている必要も、何かが間違っていると確信している必要もありません。

マイクロソフトは、あなたの報告を真剣かつ公平に取り扱い、内容をもとに何かを正す必要がある場合は迅速に行動するよう努めます。



報復行為の禁止

何かがおかしいとき、声を上げるのには勇気が必要です。話しにくかったり、不安を感じたりすることもあるでしょう。そのため、マイクロソフトでは報復を固く禁じています。次に対する報復は禁止されています。



Trust Code、マイクロソフトのポリシー、または法令に違反する行為を拒否した場合（たとえその拒否がマイクロソフトのビジネスの損失につながるとしても）。



腐敗行為の可能性について誠実に懸念を提起する場合。



調査に協力する場合。

マイクロソフトのポリシーでは、これらの活動に関与する従業員に対して報復を行った者は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。



マネージャー の役割



あなたには、リーダーとして、チームの文化や職場環境を整えるという特別な責任があります。

あなたがどのように判断し、懸念や異なる意見、さらには悪い知らせに対処するかによって、チーム、お客様、そして利害関係者との信頼の基礎が築かれます。あなたとあなたのチームの成功は、あなたが共に築き上げる信頼にかかっています。

```
app.MapGet("/trust/{id}", async.(id) => {
    await db.TrustCode.FindAsync(id)
        ? Results.Ok(trust)
        : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async.(Trusted trust) => {
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var validationErrors))
    {
        return Results.ValidationProblem(validationErrors);
    }
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.CreatedAt("trust", db.TrustCode.Find(trust.Id));
});
app.MapPut("/trust/{id}", async.(id, TrustedDb db) =>
```



これらの簡単なステップを実行して、
チームで信頼と誠実さの文化を築きましょう。

伝える

倫理と誠実さの重要性を定期的にチームに伝え、倫理的に仕事が行われることをチームに求めていると明確にしておきましょう。



模範となる

倫理的な意思決定と良い判断の模範となることで、手本を示しましょう。



質問する

結果を出すには正しい方法で達成する必要があることを、チームに確実に理解してもらいましょう。そして、正しい方法で結果が得られたかどうか、自分自身に問いかけて確認します。



聞く

マネージャーとして、チームを指導し配慮を示すことは非常に重要です。たとえ言いにくいことがあっても、あなたは耳を傾けるということを、チームに伝えましょう。



マネージャーによる 懸念の対処方法

誰かが懸念を打ち明けてきた場合、あなたには耳を傾け、行動する特別な責任があります。懸念について適切に対処することは、信頼を維持し、マイクロソフトを保護するために非常に重要です。

誰かが懸念を提起した場合は、次のステップに従います。



集中して注意深く**耳を傾けます**。話してくれた人に**感謝**します。その人は、言いにくいことを伝えてくれたばかりで、マイクロソフトにとって非常に重要な行為だったということを忘れないでください。



たとえ同意できない場合でも、**敬意**を持って対応し、すべての懸念を**真剣**に受け止めます。あなたが問題の解決に取り組んでいることを示します。



相手の**秘密**を守るための手段を講じます。チーム内の他の人に、その話をしてはなりません。

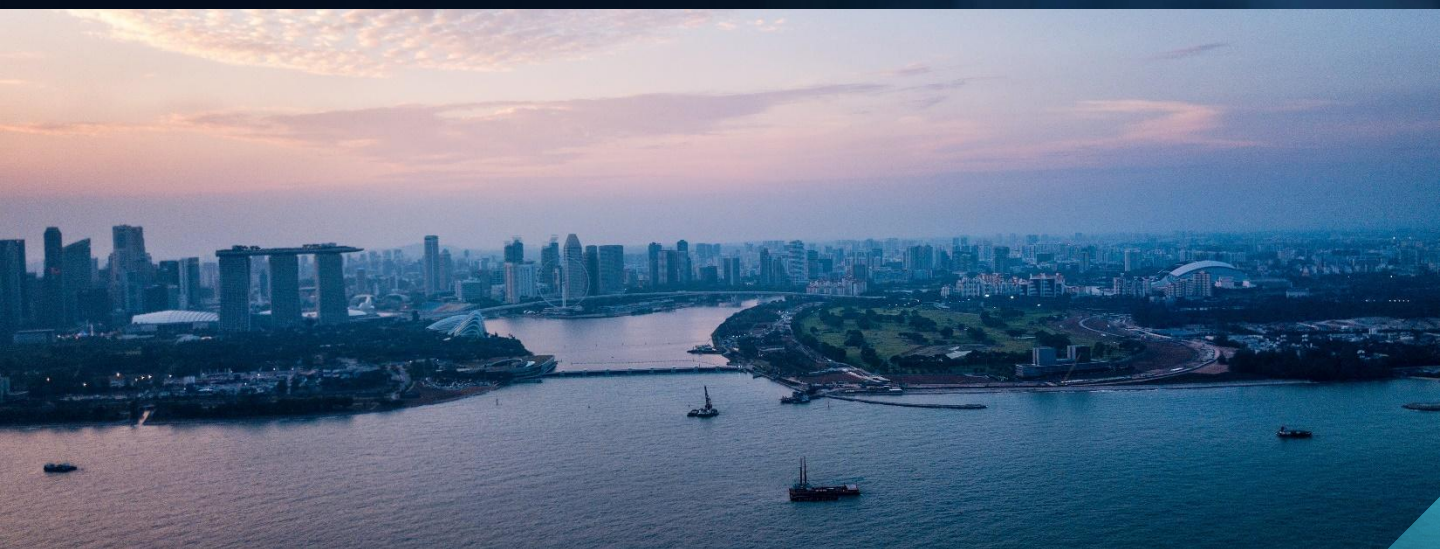


ハラスメント防止および差別禁止ポリシーに違反する可能性のある懸念を知ることになった場合、速やかに [AskHR](#) へ連絡してください。

あなたは、マネージャーとして、パフォーマンスの問題は自分が解決するべきだと思っているかもしれませんが。しかし、ビジネス倫理や不正行為における誠実さの懸念は、**Microsoft Business & Regulatory Investigations にエスカレーションしてください。**

質問がある場合、または自分で問題を解決できるかどうか分からない場合は、いつでも **Business Conduct and Compliance (buscond@microsoft.com)** にメールを送り助言を受けることができます。

Business Conduct & Compliance にメールを送る >



何かがおかしいと思ったら、**声を上げましょう。**
そうすることで、問題に対処できます。

誠実さについての懸念を報告する >

不正行為ポリシーに関する懸念を報告する >

TRUST

お客様との間

プライバシーの尊重

18

不適切な支払いの禁止

19

公正な競争

21

セキュアな製品とサービスを構築する

22



```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustCode db) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is TrustCode trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound();
});
```

```
app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustCode db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var violations))
    {
        return Results.ValidationProblem(violations);
    }
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($" /trust/{trust.Id}", trust);
});
```

```
app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Trusted trust, TrustCode db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTrust, out var violations))
    {
        return Results.ValidationProblem(violations);
    }
    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust == null) return Results.NotFound();
    trust.Update(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.NoContent();
});
```

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustCode db) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is TrustCode trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound();
});
```

```
app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustCode db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var violations))
    {
        return Results.ValidationProblem(violations);
    }
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($" /trust/{trust.Id}", trust);
});
```

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustCode db) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is TrustCode trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound();
});

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustCode db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var violations))
    {
        return Results.ValidationProblem(violations);
    }
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($" /trust/{trust.Id}", trust);
});

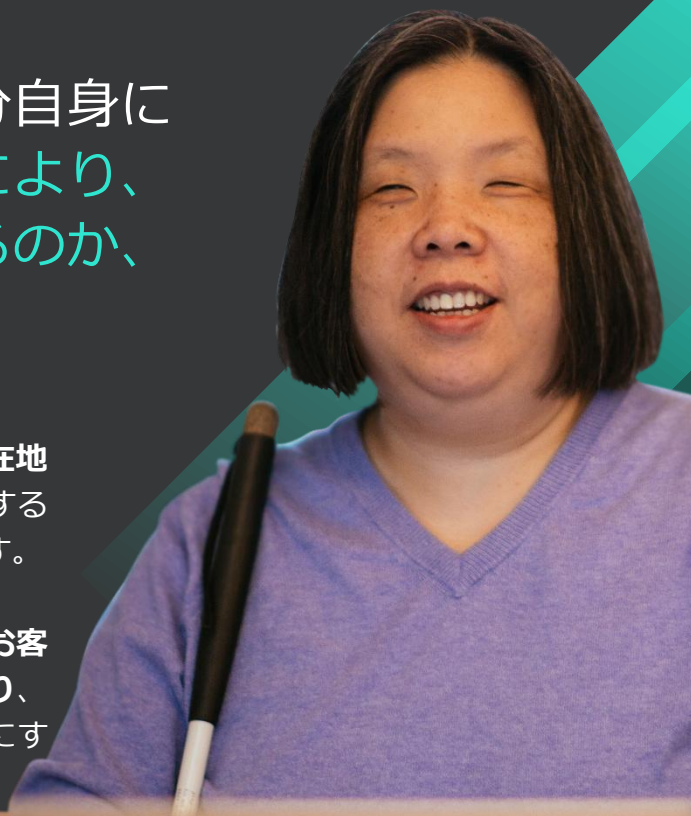
app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Trusted trust, TrustCode db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTrust, out var violations))
    {
        return Results.ValidationProblem(violations);
    }
    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust == null) return Results.NotFound();
    trust.Update(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.NoContent();
});
```




意思決定を行う際は、自分自身に
問いかけましょう。これにより、
お客様との信頼が築かれるのか、
それとも損なわれるのか？

マイクロソフトでは、人々や組織とその所在地
で会い、望まれるものや必要なものを提供する
能力が、成功の道につながると考えています。

私たちのあらゆる行動の中心にいるのは、お客
様でなければなりません。お客様とかわり、
擁護し、より多くのことを達成できるようにす
る方法を探しましょう。



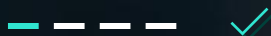


プライバシー の尊重

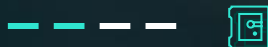
マイクロソフトは、個人情報を含むお客様のデータの取り扱い方法において透明性を確保することで、プライバシーを尊重します。

マイクロソフトは、プライバシー保護と、お客様によって許可された方法でのデータの使用において、お客様からの信頼を得たいと考えています。

＜プライバシーを尊重する方法＞



地域のプライバシーおよびデータ保護に関する法令に従います。



個人データ (従業員の個人データも含む) を収集または処理する際に、明確かつ正確なプライバシーに関する通知を行います。



お客様が同意したサービスを提供するためにお客様のデータを使用することで、プライバシーの選択を尊重します。



安全な製品やサービスを構築することにより、お客様のデータを保護します。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。↓

[プライバシー ポリシー \(社内のみ\)](#) >

[プライバシーの原則](#) >



```
app.MapGet("/trust/incomplete", async (TrustedDb db) =>
await db.TrustCode.Where(t => !t.IsComplete).ToListAsync());
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) =>
await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust
? Results.Ok(trust)
: Results.NotFound());
```

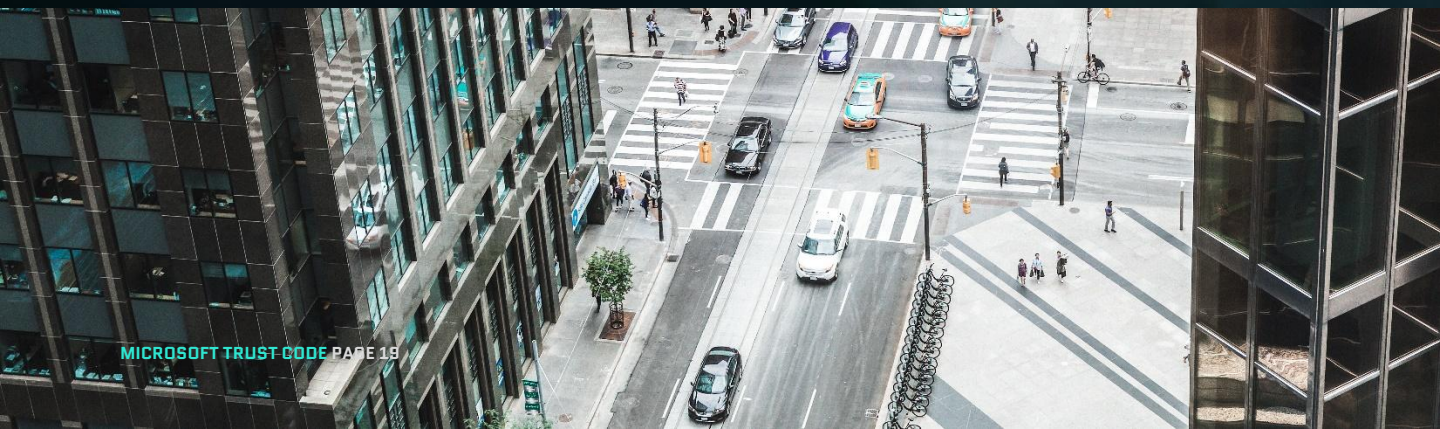
不適切な支払い の禁止

マイクロソフトは、お客様との誠実で透明なやりとりに努めており、不適切な支払いによってお客様の決断に影響を与えるような試みを禁止しています。

腐敗行為は、お客様に必要以上の金額を支払わせるなど、さまざまな点でお客様に損害を与える可能性があります。

お客様の信頼を日々獲得し維持することは、不適切なビジネスから得られるどのような利益よりも重要です。世界の一部の地域では、ビジネスの場での贈収賄が慣例になっている場合があります。しかし、マイクロソフトではそれを禁じています。

マイクロソフトは、贈収賄やリベート、またはその他の不適切な利益を通じてビジネスを得るよりも、むしろビジネスを失うことを望みます。



＜信頼を築く方法＞

誰に対しても、賄賂やリベートの提示または支払いを行いません。

あらゆる種類の不正な支払いを禁じます。これには、許可や承認を得るための支払いや、政府の通常のプロセスをスピードアップしてもらうための少額の支払い（「便宜を図ってもらうための支払い」）などが含まれます。

どのような取引においても隠された条件や取り決めを避け、可能な限り複雑さを減らします。なぜなら、透明な取引は、贈収賄やリベートのリスクを低減するからです。

誠実さで定評のあるパートナーを使用し、代理人が非倫理的であったり賄賂を払っている可能性があるという兆候があれば報告します。

政府関係者やお客様に提供する贈り物、接待、旅行が妥当かつ適切であり、必要に応じて事前に承認されていることを確認します。

求職者は、お客様や政府関係者の利益のために採用することはせず、その長所に基づいて採用します。

慈善寄付は、正当な慈善活動を支援するために行い、恩恵の交換の一環として行うことはありません。

腐敗防止ポリシー



政府担当者に対する贈り物、接待、旅行の提供 (社内のみ)



腐敗および贈収賄防止へのコミットメント





公正な競争

競争の仕方は、達成した結果と同じくらい重要です。

健全な競争と公正なビジネス慣行でお客様にさまざまな製品とサービスを適正な価格で提供することにより、お客様第一主義を遂行できます。マイクロソフトは、公正な競争により、誠実さを保ったままビジネス目標を達成します。

〈公正に競争を行う方法〉

- 競争を制限するような競合他社との公式または非公式な協定を締結することはありません。
- 競争入札プロセスを尊重し、結果を不正に操作または修正したり、そうする誰かを手助けしたりしません。
- 独立チャネルパートナーがお客様に請求する価格を、マイクロソフトが指示することはありません。
- 適切なリソースのみを用いてコンペティティブ インテリジェンス (競合分析情報) を収集し、誠実であり、私たちが誰であるかを偽って伝えたりしません。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。

公正な競争に関するポリシー
(社内のみ)



コンペティティブ インテリジェ
ンス ポリシー (社内のみ)



セキュアな製品と サービスを構築する

私たちは、可能な限り高いセキュリティ基準を満たすソリューションを確実に提供するためのテクノロジーを設計、構築、テスト、運用する取り組みに力を注ぎます。

私たちは、顧客データのあらゆる側面について機密性が確保される状態、データの整合性とセキュリティが維持される状態、ビジネス機能が効果的に運用され攻撃への抵抗力が発揮される状態の維持に努めます。私たちは全員が、Microsoft のセキュリティとお客様のセキュリティに直接貢献する責任を負います。



```
if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out va
    return Results.ValidationProblem(violation
db.TrustCode.Add(trust);
await db.SaveChangesAsync();

return Results.Created($"/trust/{trust.Id}", tru
});

app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Trusted. in
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTrusted
        return Results.ValidationProblem(violations

    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);

    if (trust is null) return Results.NotFound();

app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, Trusted
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted tr
        ? Results.Ok(trust)
        : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, Trusted
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out va
        return Results.ValidationProblem(violation
        db.TrustCode.Add(trust);
        await db.SaveChangesAsync();

    return Results.Created($"/trust/{trust.Id}", tru
    async (int id, Trusted. in
    Validate(inputTrusted,
    onProblem(violations):
    ustCode.FindAsync(id)
    Results.NotFound();
```


<Microsoft がセキュアな製品とサービスを構築するための方法>

セキュリティのコア プライオリティに沿ったインパクトを生み出す。

セキュリティ基盤とトラスト コード (ビジネス行動基準) のコースなど、必須とされるトレーニングの履修を完了し、そこで学んだことを実践する。

Microsoft セキュア フューチャー イニシアティブ (SFI) のフレームワークと目標について学ぶ。

自分の業務においてセキュリティを重視するとともに、製品、プロセス、ツールについて、当社のセキュア フューチャー イニシアティブ (SFI) に沿ったセキュアなアプローチを期待し実装する。

Microsoft のセキュリティ確保に自分が貢献するためにできることを、MSProtect を使用して詳しく学ぶ。

不審な点または悪意があるサイバー活動、当社のシステムとデータの整合性に関する懸念、および、デジタル的/物理的なセキュリティ違反や脆弱性の疑いがある場合については、Report It Now を通じて報告する。

詳細については以下のリンクを参照



セキュリティのコア プライオリティ (社内専用) >

Microsoft セキュリティ ポリシー (社内専用) >

セキュア フューチャー イニシアティブ >

Report It Now (社内専用) >

MSProtect (社内専用) >



TRUST

政府やコミュニティとの間

世界の法令の遵守

25

アクセシビリティに対応した製品
およびサービスのデザイ

27

人権の尊重および推進

28

責任ある AI の開発および展開

29

**意思決定を行う際は、自分自身に問いかけましょう。
これにより、政府やコミュニティとの信頼を育むこ
とができるのか？**

マイクロソフトがミッションを達成するには、ビジ
ネスを行う国の法令や習慣に従い、世界中の人権を
尊重することを政府やコミュニティに知ってもら
うことが必要です。

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (i
    await db.TrustCode.FindAsync(i
        ? Results.Ok(trust)
        : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async (Trusted
{
    if (!MinimalValidation.TryVali
        return Results.Validation
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($" /trust
});
app.MapPut("/{id}", async (int
{
    MinimalValidation, TryValida
    Results.ValidationPro
    = await db.TrustCod
    is null) return Res
```





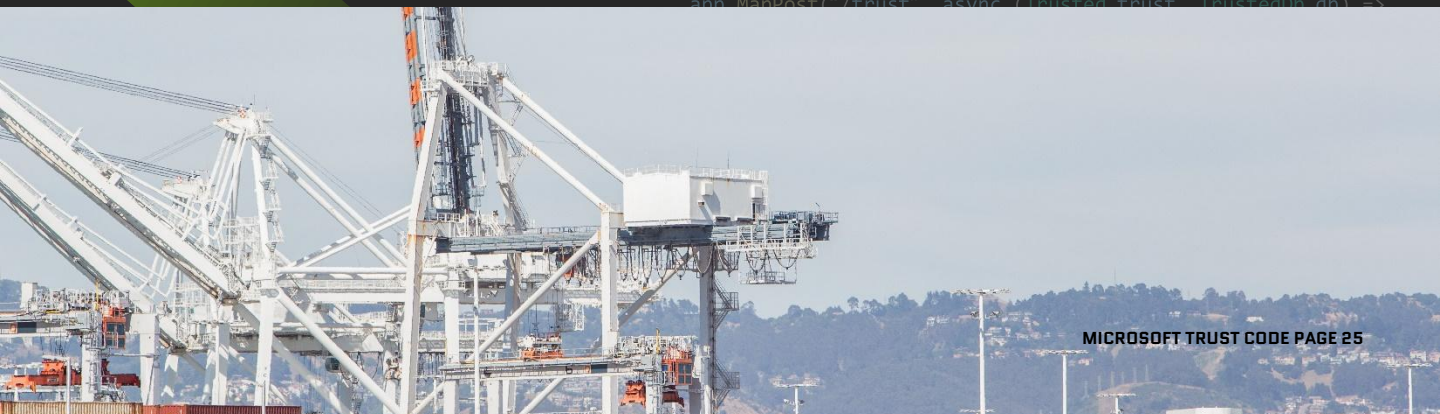
世界の 法令の遵守


マイクロソフトは世界中でビジネスを展開しており、ビジネスを行う場所での法令を必ず遵守します。

このことは、政府との信頼の構築、人々が生活し働くコミュニティの強化、同じ法令の保護を享受する公正な社会への貢献につながります。

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) =>  
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust  
    ? Results.Ok(trust)  
    : Results.NotFound());
```

```
app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustedDb db) =>
```





<マイクロソフトが世界中の法令を尊重する方法>



特定の国、政府、団体、個人との取引を禁止する国際貿易規制や経済制裁を尊重し、遵守します。



政府の代表者や関係者との議論において、正直で、透明さを保ちます。



政府からの情報提供要請に対して、誠実、適切、迅速に対応します。



マイクロソフトのテクノロジーが国際的にどのように配布および使用されるかを規定する法令を遵守し、従います。



米国、およびマイクロソフトがビジネスを行うすべての場所の法令に従います。



アクセシビリティに対応

した製品およびサービスのデザイン

マイクロソフトは、製品やサービスの開発においてインクルーシブなデザインを優先します。

世界中で 10 億人を超える人々が障がいを抱えています。マイクロソフトには、インクルーシブなデザインを行う機会と責任があります。アクセシビリティへの投資により、マイクロソフトは、お客様をサポートしてインクルージョンの目標を達成することができるようになります。テクノロジーにそれを使うすべての人の多様性が反映されれば、人々が達成できることに限界はないと、マイクロソフトは信じています。

〈アクセシビリティに対応したデザインを行う方法〉



さまざまな立場の人を包含して学び、プロセスの最初から人々を念頭に置いてインクルーシブなデザインを行います。



あらゆるユーザーが製品にアクセスできるようにします。これには、視覚、聴覚、学習、モビリティ、メンタルヘルス、加齢関連、感覚、発話に障がいのあるユーザーが含まれます。

Microsoft アクセシビリティ



アクセシビリティに関するリソースとトレーニング



公的ポリシーに関する推奨事項



人権

の尊重および推進

マイクロソフトは、人権を尊重し、促進して、世界中の人々が人類のためにテクノロジーを使用できるよう取り組んでいます。

〈マイクロソフトが人権を尊重し促進する方法〉



マイクロソフトは、国際法、原則、規範のもと、法の支配と人権を尊重し、支持します。



マイクロソフトは、人権問題が深刻な国において、マイクロソフトの存在と、その国の人々や政府、その他の利害関係者との責任あるかわり、人権の向上に大きな期待をもたらすことが多いと信じています。



マイクロソフトが政府からユーザー データの提供やコンテンツの削除を要求された場合、政府の要求が有効で拘束力があるか、法の支配に則っているかどうかを検証します。



マイクロソフトは、マイクロソフトのテクノロジーが人権に与える影響を評価するために、デュー デリジェンスを行います。マイクロソフトは、利害関係者から学び、自らの考え方に挑戦し、ポリシーと慣行を開発および改良して、人権へのコミットメントを果たすためにテクノロジーとその提供方法を改善します。

人権へのコミットメント >

開発および展開
責任ある AI

Microsoft は、AI の原則、責任
ある AI 基準、企業ミッション、
価値観、人権へのコミットメン
トと一致する方法で、AI テクノ
ロジの開発および展開に取り組
んでいます。

Microsoft は、人々に信頼されるシステムの創造に努めています。これは、人々とその目標をシステム設計の意思決定の中心に据え、公平性、信頼性と安全性、プライバシーとセキュリティ、包括性、透明性、説明責任といった永続的な価値観を尊重することを意味します。

<責任ある AI の開発および展開方法>

AI テクノロジーを開発および展開する際は、Microsoft の責任ある AI 基準に従います。

機密性の高い使用を責任ある AI オフィスに報告し、受け取ったガイダンスに従います。

追加のガイダンスが必要な場合にヘルプを求めます。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。



責任ある AI オフィス
(社内のみ)



Microsoft の責任ある AI ポリシー
(社内のみ)



機密性の高い使用の報告
(社内のみ)



Microsoft の責任ある AI の原則



Microsoft の責任ある AI 基準



TRUST

従業員同士

ダイバーシティとインクルージョンの醸成 32

安全で生産性の高い職場 34

利益相反の回避 36

意思決定を行う際は、自分自身に問いかけましょう。これにより、One Microsoft としての協働方法が改善されるのか？

最も強力な貢献は、**信頼しあうチーム**、つまり互いにオープンかつ正直で、建設的になることができるチームから生まれます。

相互尊重、インクルージョン、コラボレーションの雰囲気醸成されるには、従業員全員で取り組む必要があります。

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is TrustCode trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust))
        return Results.ValidationProblem(validationProblems);
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($"/trust/{trust.Id}", trust);
});

app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, TrustCode trust) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust))
        return Results.ValidationProblem(validationProblems);
    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust is null) return Results.NotFound();
    trust.Update(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.NoContent();
});

app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, TrustCode trust) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust))
        return Results.ValidationProblem(validationProblems);
    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust is null) return Results.NotFound();
    trust.Update(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.NoContent();
});
```



ダイバーシティと インクルージョン の醸成

私たちは、違いがある
「にもかかわらず」では
なく、違いがある「から
こそ」、より良く協働で
きます。

マイクロソフトは、それ
ぞれが持つ多様なスキル、
経験、背景を通じて、世
界中のあらゆる人に最高
のサービスを提供すると
ともに、自らの文化を豊
かにすることができると
信じています。

```
return Results.ValidationProblem(V  
db.TrustCode.Add(trust);  
await db.SaveChangesAsync();  
return Results.Created($"/trust/{trust.Id}  
));  
app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Truste  
{  
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTru  
        return Results.ValidationProblem(violat  
        var trust = await db.TrustCode.FindAsync  
        if (trust is null) return Results.NotFound()  
    });  
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, Tru  
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trust  
        ? Results.Ok(trust)  
        : Results.NotFound());  
app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, Tru  
{  
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust  
        return Results.ValidationProblem(V  
db.TrustCode.Add(trust);  
await db.SaveChangesAsync();  
return Results.Created($"/trust/{trust.Id}  
));  
app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Truste  
{  
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTru  
        return Results.ValidationProblem(violat  
        var trust = await db.TrustCode.FindAsync  
        if (trust is null) return Results.NotFound()  
    });  
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, Tru  
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trust  
        ? Results.Ok(trust)  
        : Results.NotFound());  
app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, Tru  
{  
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust  
        return Results.ValidationProblem(V  
db.TrustCode.Add(trust);  
await db.SaveChangesAsync();  
return Results.Created($"/trust/{trust.Id}
```



<ダイバーシティとインクルージョンを醸成する方法>



すべての適格な応募者や従業員に、**均等な雇用機会を提供します。**



障がいを持つ人を雇用し、適格な従業員に合理的配慮を提供することに継続して取り組みます。



無意識の偏見を検証し、対策を講じて、すべての従業員を歓迎するインクルーシブな文化を作り出します。



年齢、出自、皮膚の色、育児または介護休暇の取得、性自認または表現、遺伝的特徴、婚姻の有無、病状、国籍、身体的または精神的障がい、政治的見解、保護された退役軍人の地位、人種、宗教、性別 (妊娠を含む)、性的指向、またはその他の適用法、規制、条例によって保護された特性に基づいて差別を行うことはありません。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。



グローバル ダイバーシティとインクルージョン >

雇用機会均等ポリシー (社内のみ) >





安全で生産性の高い職場への貢献

マイクロソフトは、誰もが最大限の力を発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。安全な職場は信頼を生み、従業員全員が貢献および成功できるようになります。

差別、ハラスメント、および安全ではない労働条件により、共に達成できることが少なくなります。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。



ハラスメントおよび差別防止ポリシー
(社内のみ)



エンターテイメント ポリシー (社内のみ)



職場での暴力に関するポリシー
(社内のみ)



薬物のない職場に関するポリシー
(社内のみ)



```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound();
});

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustedDb db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var violations))
        return Results.ValidationProblem(violations);
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($"/trust/{trust.Id}", trust);
});

app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Trusted inputTrust, TrustedDb db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTrust, out var violations))
        return Results.ValidationProblem(violations);
    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust is null) return Results.NotFound();
    trust.Name = inputTrust.Name;
    trust.Description = inputTrust.Description;
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.NoContent();
});
```



```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) =>
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustedDb db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(trust, out var violations))
        return Results.ValidationProblem(violations);
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.Created($"/trust/{trust.Id}", trust);
});

app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Trusted inputTrusted, TrustedDb db) =>
{
    if (!MinimalValidation.TryValidate(inputTrusted, out var violations))
        return Results.ValidationProblem(violations);
    var trust = await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust is null) return Results.NotFound();
```

＜安全で生産性の高い職場への貢献方法＞

健全な安全衛生習慣を業務に組み込み、職場の安全規制を遵守します。

他者を尊重し、ハラスメントや差別を容認しません。

敬意を持って問題を解決し、決して暴力行為や脅迫を行ったりしません。

薬物やアルコールの影響下で働きません。

利益相反 の回避

利益相反は、個人的な関係または金銭的利害が、職務における責任と競合するときが発生します。

潜在的な利益相反を慎重に処理しないと、こうした状況は意思決定に影響を与え、チーム内の信頼を損ない、マイクロソフトの評判を落とすことになりかねません。

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust
    ? Results.Ok(trust)
    : Results.NotFound());

app.MapPost("/trust", async (Trusted trust, TrustedDb db) =>
{
    if (!Min
    re
    db.TrustC
    await db.
    return.Re
    });
app.MapPut("/tr
{
    if (!Minim
    return
    var tru
    if (tru
```



＜利益相反を回避する方法＞



マイクロソフトの最善の利益のために行動します。



他社との個人的な関係や金銭的利害が仕事上の意思決定に影響を与えるような状況を回避するか、その状況から撤退します。

(リストは以下に続く) ↓



意思決定が社外での関係の影響を受けないと確信していても、利益相反が存在する場合があることを理解します。



利益相反が発生した場合、マイクロソフトはそのことを明らかにし、助言または承認を受けます。



社外の仕事を引き受ける前に、その仕事がマイクロソフトのビジネス上の利益を損なったり、私たちが署名した雇用契約に違反したりしないことを確認します。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。



```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustedDb db) => {
    await db.TrustCode.FindAsync(id) is Trusted trust
        ? Results.Ok(trust)
        : Results.NotFound();
})
```

利益相反
(社内のみ)



社外の仕事に関するポリシー
(社内のみ)



利益相反の承認ツール
(社内のみ)



TRUST

投資家や一般の人々との間

インサイダー取引の禁止

39

正確な記録や契約の保持

41

一般の人々への正確な情報伝達

43

マイクロソフトのリソースの保護

45

機密情報や知的財産の保護

46

**意思決定を行う際は、自分自身に問いかけましょう。
これにより、投資家や一般の人々のマイクロソフトに対する
評判を高めるか、それとも損なうか？**

マイクロソフトの投資家には、マイクロソフトが責任ある
思慮深い方法で投資家のために価値を創造していると
確信してもらう必要があります。

信頼は、マイクロソフトの資産や情報を保護し、企業と
しての方向性を正確に示して、投資家や一般の人々と誠
実にコミュニケーションを取ることで獲得できます。



```
db.TrustCode.Add(trust);  
await db.SaveChangesAsync();  
return Results.Created($"trust/{trust.Id}", trust);  
});  
app.MapPut("/trust/{id}", async (int id, Trust trust) =>  
{  
    if (!MinimalValidation, TryValidat  
        return Results.ValidationPr  
    var trust = await db.TrustC  
    if (trust is null) return R
```

インサイダー 取引の禁止

マイクロソフトは、投資家や一般の人々との信頼を維持するために、証券取引法を遵守しています。つまり、重要かつ未公開の情報を保有しながら取引を行うことはありません。

業務を行う中で、マイクロソフトや取引先企業に関する重要な未公開情報に接する場合があります。合理的な投資家が会社の証券を売買するかどうかを決定する上で重要視する情報は、「重要」です。一般投資家に広く伝えられていない情報は、「未公開」です。

このような情報に基づいてマイクロソフトの株式や他社の株式を取引することは、マイクロソフトの投資家や一般の人々との信頼を損なうだけでなく、違法であり、会社のポリシーに違反し、他の投資家に対して不公平となります。



詳細については、以下のリンクをご覧ください。 ↓

インサイダー取引に関するポリシー
(社内のみ)



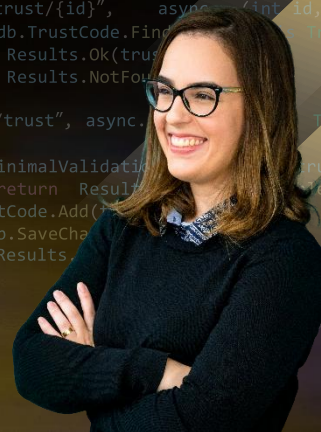
制限付きの取引ウィンドウに
関するポリシー
(社内のみ)



〈信頼を 築く方法〉

```
app.MapGet("/trust/{id}", async (int id, TrustCode db) =>
{
    await db.TrustCode.FindAsync(id);
    if (trust == null)
    {
        return Results.NotFound();
    }
    return Results.Ok(trust);
});

app.MapPost("/trust", async (TrustCode trust, out var violations) =>
{
    if (!MinimalValidation(trust, out var violations))
    {
        return Results.ValidationProblem(validationProblemDetails: new(validationProblemDetails));
    }
    db.TrustCode.Add(trust);
    await db.SaveChangesAsync();
    return Results.CreatedAt("Id", trust);
});
```



マイクロソフトの、またはマイクロソフトとの雇用関係から得た重要な未公開情報に基づいて、証券を売買しません。



他の誰か (友人、配偶者、ブローカーなど) に重要な未公開情報に関する「ヒント」を与えることは、決してありません。



情報そのものが会社から伝えられていなくても、マイクロソフトの、またはマイクロソフトとの雇用関係から得た重要な未公開情報に基づいて、他の誰かに証券取引を推奨または示唆することは、決してありません。

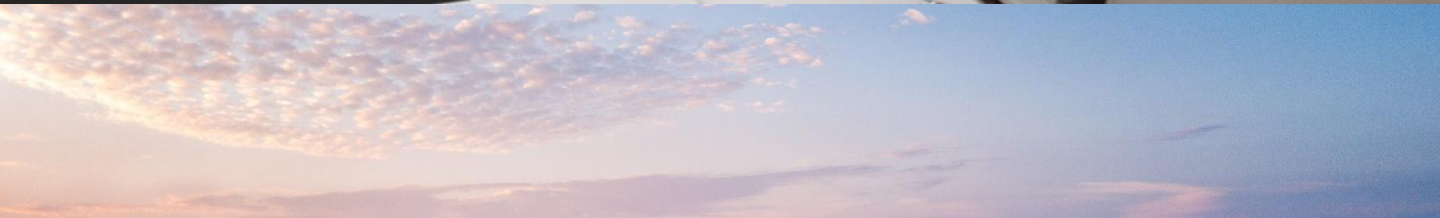


正確な記録 や取引の保持

マイクロソフトの記録は、明瞭、
正確、そして完全です。

投資家は、正確でわかりやすい情
報を頼りに、マイクロソフトの業
績や企業のビジョンを理解し、そ
の方向性に確信を持ちます。

正確な記録を保持することは、投
資家の信頼を維持し、適切なビジ
ネス上の意思決定を行い、公開会
社としての規制上の義務を果たす
ために重要です。



<正確な記録や取引を保持する方法>



マイクロソフトは、適用される法令、規制、会計慣行に従い、財務取引およびビジネス情報を正直かつ正確に記録し、報告します。



マイクロソフトは、パートナーやお客様へのコミットメントについて透明であり、書面による契約には取引の実体経済が反映されます。



マイクロソフトは、付帯契約や、その他の「帳簿外」の契約を締結することはありません。



マイクロソフトは、文書を保持および処分する際には、法的義務および長期的なビジネスニーズを満たす、確立された企業の保持要件に従います。



マイクロソフトは、適切な承認を得た場合にのみ財務取引を実行し、マイクロソフトの会計慣行に準拠して記録します。



CEO、CFO、コーポレートコントローラー、および財務組織の他の従業員は、財務プロフェッショナル行動規範を遵守します。



マイクロソフトは、標準的な契約や契約プロセスを使用するか、カスタム契約について承認を得ます。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。↓

財務プロフェッショナル行動規範
(社内のみ)



カスタムおよび付帯契約ポリシー
(社内のみ)



文書保持に関するポリシー
(社内のみ)





一般の人々への 正確な情報伝達

マイクロソフトの公的な声明やコミュニケーションは正直で、誤解を招くものではありません。

何を言うか、そしてどう言うかは重要です。マイクロソフトが伝えることが信頼に足ると理解してもらえた場合のみ、投資家や一般市民の信頼を獲得し、維持できます。



<一般の人々への正確な情報伝達方法>



マイクロソフトは、米国証券取引委員会に提出する報告書や文書、およびその他の公式声明において、完全に正確かつタイムリーな財務開示を行います。



投資家やその他の利害関係者からの意見や質問に、注意深く耳を傾けます。



許可されていない限り、私たちは会社を代表して発言することはありません。アナリストやメディアからの問い合わせは、投資家向け広報担当または広報担当に転送します。



マイクロソフトは、自社製品やサービスに関するあらゆる情報伝達が正直かつ正確であることを確認します。



ソーシャルメディアで製品やサービスを宣伝する場合、マイクロソフトでの所属を明確にし、宣伝する製品やサービスに関する正直な意見および考えを述べます。



マイクロソフトの広告や販促物は正確で、虚偽の宣伝文句は含まれていません。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。



財務情報開示ポリシー
(社内のみ)



パブリック アドボカシー ポリシー
(社内のみ)



ソーシャル メディア ガイドライン
(社内のみ)



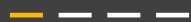


マイクロソフトのリソースの 保護

私たちは、マイクロソフトのリソースの責任ある管理者です。私たちは会社のリソースと資金を使って毎日仕事をしています。これらのリソースはマイクロソフトに帰属します。私たちは、責任を持って信頼を維持し価値を高める方法でそれらを使用する義務を、投資家に負っています。

〈マイクロソフトのリソースを保護する方法〉

ビジネス関連のデータはマイクロソフトの財産であり、マイクロソフトのポリシーおよび適用される法令に従ってアクセス、保存、確認される可能性があることを理解します。



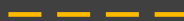
マイクロソフトの資金を賢く使い、無駄使いや乱用は行いません。



ビジネス上のやりとりやデータには、個人のアカウントやサービスではなく、会社のアカウントやサービスを使用します。



会社から提供されたテクノロジーリソースを使用する際に適切な判断を下し、会社のポリシーに従い、職務の妨げになったり職場環境に悪影響を与えたりしない場合に限り、個人的な理由で使用します。



詳細については、以下のリンクをご覧ください。↓

テクノロジーの責任ある使用に関するポリシー
(社内のみ)



経費に関するポリシー
(社内のみ)



機密情報

や知的財産の保護



私たちは、マイクロソフトに帰属するか他社に帰属するかにかかわらず、情報やアイデアのビジネス価値を保護および尊重します。

マイクロソフトの機密情報を開示すると、競争上の優位性を失う可能性があります。

取引先企業から知り得た機密情報を公開すると、信頼を失うことになります。マイクロソフトのものであろうとなかろうと、情報やアイデアを保護することはビジネスの成功に不可欠であり、信頼できるパートナーとしてのマイクロソフトの評判を築き上げます。

<機密情報や知的財産を保護する方法>



ベスト プラクティスを使用して機密情報へのアクセスを保護します。また、機密情報について共通のスペースで話したり、知る必要がない同僚と機密情報について語り合ったりすることは避けます。



マイクロソフト以外のビジネスで機密情報を使用しません。また、マイクロソフトを退社しても機密を保持します。



著作権、商標、およびマイクロソフトのイノベーションの価値を保護するその他の形態の知的財産を通じて、マイクロソフト自身の知的財産を保護します。



他者の機密性および知的財産権を尊重し、他者の機密情報を許可なく使用しません。



CELA のライセンスまたは許可なしに、ソフトウェア、グラフィックス、ビデオ、音楽などの著作権で保護された第三者の素材を使用または複製しません。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。 ↓

[機密情報ポリシー \(社内のみ\)](#)



[著作権ポリシー
\(社内のみ\)](#)



TRUST

マイクロソフトの代理人との間

信頼できる代理人の使用

49

贈り物、接待、旅行の責任ある扱い

51

誠実なサプライヤーの選択

53

意思決定を行う際は、自分自身に問いかけましょう。

これにより、マイクロソフトの代理人とお客様との長期的な協働関係が強化されるか？

マイクロソフトは高い倫理基準を持ち、マイクロソフトの代理人（マイクロソフトの代わりに業務を行うパートナー、ベンダー、コンサルタント、およびその他の企業）にも、当社が設定した基準を満たすことを求めます。

マイクロソフトは、当社の代理人に価値を還元することで、代理人からの信頼を獲得します。そして、自社で行わないことを代理人に行うよう求めることはありません。



```
app.MapPut("/trust/{id}",  
TrustedDb db) =>  
{  
    if (!MinimalValidat  
violations))  
        return Results.V  
    var trust = await  
    if (trust is null
```


信頼できる代理人 の使用

マイクロソフトは、マイクロソフトに代わって業務を行う際に倫理的にビジネスを遂行する、正直で倫理的な代理人を使用するよう努めています。マイクロソフトのビジネスの成功は、パートナー、ベンダー、コンサルタントなどの大規模な代理人ネットワークによって支えられています。

代理人の行動は、私たち自身の行動と同じくらい、マイクロソフトの評判に反映されます。マイクロソフトの代理人が誠実にビジネスを行うとき、マイクロソフトは、お客様や一般の人々との間に確立した信頼を維持し、強化できます。



<信頼できる代理人の使用方法>



マイクロソフトに代わって業務を行ってもらう前に、代理人の資格と評判を把握します。



特定の代理人を取引や決済に関与させる理由を理解し、適切な場合にのみそうさせます。



代理人との信頼を育み、法令やポリシーで許可されていないことを代理人に行うよう求めたり示唆したりすることはしません。



パートナーやリセラーに、望まない、または必要のない製品やサービスを発注するよう圧力をかけたりしません。また、発注を拒否した場合も報復を行いません。



代理人がマイクロソフトを代理として腐敗的または非倫理的な行動に関与している可能性がある兆候があれば、報告します。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。 ↓

信頼できる代理人に関するポリシー
(社内のみ)



倫理的な販売に関するポリシー
(社内のみ)



贈り物、 接待、旅行の 責任ある扱い

マイクロソフトは、健全な判断力と節度をもってビジネス上の儀礼を払うよう努めます。

贈り物、接待、旅行の授受は、マイクロソフトとビジネス相手との間に強固な協力関係や親善関係を築く場合があります。

しかし、非常に高価であったり、透明性や正当な目的が欠けている贈り物、会食、旅行は、贈賄または単に不適切と見なされる場合があります。これらは信頼を損ない、マイクロソフトのビジネスに悪影響を及ぼします。



<贈り物、接待、旅行の責任ある扱い方>



腐敗や商的贈収賄のない、ポジティブな関係を築きます。



贈り物、接待、旅行を授受する場合、それらが合理的かつ適切で、正当なビジネスの目的を持っていることを確認します。



第三者に対して贈り物、接待、旅行を要求したり、マイクロソフトとの取引を行うために何かを提供しなければならないと相手に感じさせるようなことはしません。



パートナーやサプライヤーといった代理人に対し、マイクロソフトの代わりに贈り物、接待、旅行を提供するよう依頼したりしません。



現金の授受はしません。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。



営利目的の受領者への贈り物、接待、
旅行の提供に関するポリシー (社内のみ)



贈り物、接待、旅行の
受け取りに関するポリシー
(社内のみ)



政府関係者への贈り物、接待、
旅行の提供に関するポリシー (社内のみ)



誠実な

サプライヤーの選択

マイクロソフトの成功は、サプライヤーとの関係に支えられています。マイクロソフトのミッションを達成するためには、お客様との信頼を築くために尽力し、素晴らしい仕事をして、法令を遵守するサプライヤーが必要です。



〈誠実なサプライヤーの選択方法〉

サプライヤーは、最良ではなく、実績や誠実さに関する評判、その他のメリットを慎重に考慮して選択します。

マイクロソフトのサプライチェーンにおける児童労働、人身売買、およびその他の労働的虐待の排除に取り組みます。

詳細については、以下のリンクをご覧ください。 ↓

サプライヤー契約ポリシー
(社内のみ)



調達ポリシー
(社内のみ)



TRUST CODE

を遵守する



従業員の責任

従業員は、この Trust Code、マイクロソフトのポリシー、および法令の遵守を求められます。**つまり、次を行う必要があります。**

この Trust Code、および自分の職務に適用されるポリシー、法令、および規制を読み、理解し、遵守します。

Trust Code、マイクロソフトのポリシー、および法的要件や規制要件に違反している可能性がある場合は、**声を上げます。**

社内調査には誠実に対応し、全面的に協力します。情報を隠したり、破棄したりしてはなりません。

Trust Code に関するトレーニングを完了して、Trust Code を理解し遵守に取り組むことを証明します。Trust Code を読まなかったり、証明しなかったりしても、その責任から免除されることはありません。

マイクロソフトのビジネス行動規範とそのコンプライアンスおよび倫理プログラムは、マイクロソフトの取締役会によって承認され、全面的に支持されています。取締役会や経営陣は、コンプライアンスおよび倫理プログラムを監督し、本規範を遵守する責任があります。本規範は、マイクロソフト、その取締役会、およびマイクロソフトの全従業員や取締役、執行役員に適用されます。

「マイクロソフト」とは、Microsoft Corporation と、同社が直接または間接的に議決権の 50% 以上を保有しているすべての子会社および関連会社を指します。「従業員」という表現には、マイクロソフトの取締役会、従業員、取締役、および執行役員が含まれます。

取締役会のみが、取締役または執行役員に対する本規範の規定の適用を免除できます。取締役または執行役員に認められた権利放棄は、NASDAQ 上場要件および適用される法令、規則、規制の要求に応じて一般に開示されます。

本規範は、私たちにとって重要です。本規範に違反した場合、解雇を含む懲戒処分の対象となる場合があります。従業員は、特定の行動を禁止するポリシーの有無にかかわらず、常に常識的で適切な判断を行い、責任を持って行動することが求められます。

何かがおかしいと思ったら、声を上げましょう。そうすることで、問題に対処できます。

誠実さについての懸念を報告する



TRUST CODE

マイクロソフトのビジネス行動規範